

合格体験記

アガルートアカデミー合格体験記

測量士試験

令和3年～令和6年合格者

令和6年 測量士試験合格

徹底的な反復学習で一発合格！

坂田 一郎さん

2024/ 測量士試験 / 合格総合カリキュラム / フル

測量士試験の受験回数：1回目

カリキュラムの学習期間：4か月

アガルトの講座を受講した決め手

合格特典があったから、予備校に通学するのではなく、オンラインで学習したかったから、サンプル講義・サンプルテキストが良かったから、合格実績が良かったから

測量士試験を目指した理由・契機

現在不動産鑑定士の会社を経営して不動産鑑定士業を営んでいるが、業務拡大のため新しくドローンを業務で使用するようになり、その関連で昨年測量士補を取得した。その後もう少し測量を深掘りしようということで測量士試験受験を決意した。

アガルトアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

測量士補同様、当初は独学で対応しようとしたが、試験のレベルが測量士補と比べ段違いに高いため、予備校のお世話になろうとした。受験勉強開始にあたり、資料を取得して他の予備校と比較検討したが、アガルトアカデミーの講座が最も充実していると感じた。受験勉強は基礎となる参考書と過去問解説の両方を攻略する必要があることから、両方を他の予備校と比較検討した結果、アガルトアカデミーに決定した。

合格体験記・学習上の工夫

自分は過去にも不動産鑑定士を始め、各種の国家資格を取得してきたが、過去の経験から受験勉強の際はあまり手を広げず、教材を絞ってやるのが最も効率的だと感じている。したがってアガルトアカデミーに決めたからには、合格総合講義と過去問解説講義で徹底した反復学習をしようという計画を立てた。当初は合格総合講義を5回回して、

その後過去問解説講義9年分を5回回せば完璧だと考えていたが、受験勉強開始の遅れ、仕事の関係で勉強時間の確保の難しさ等で結局5回は無理で、何とか3回回すのが精一杯だった。ただ、確かに回数が多い方が記憶が定着することは確かだが、やはり人間は尻に火がついて切羽詰まった状況に追い込まれた方がより必死になるので、あまり時間に余裕がありすぎると、かえってうまくいかないことになり、結果論だが受験勉強時間が約4か月だったことが幸いしたかもしれないと感じている。また、自分は昔から不明点や理解できない点があるとそこで留まってしまい、時間を無駄にロスしてしまうことが多かった。性格的なものだから仕方ないのだろうが、やはり不明点は完璧に解消しようとしなくて、ある程度飛ばしながら回した方が時間的には効率が良いと思う。不明点も2回、3回と回すうちに自然と理解できるようになることが今回よくわかった。結論としては多くの人が言っているように、教材の手を広げすぎないこと、そして不明点があってもそこに留まらないでひたすら回す、この2点が重要であると今後の受験生には助言したい。

合格総合講義のご感想・ご利用方法

受験勉強を本格的に始めたのが1月末頃だったため、当初は合格総合講義をじっくりやるのではなく、過去問をやりながら総合講義を並行してやろうと思ったのだが、やはり測量士補とはレベルが違うので、知識が充分でないのに過去問をいきなりやっても理解が進まず、ストレスが貯まるばかりだった。そこで方針を変更して合格総合講義をじっくり回すことにした。先にじっくり読みこんでその後講師の講義を聴くようにした。逆のパターンもちろんあるが自分の場合はこのパターンがしっくりきた。内容が多いのでなかなか大変だったが、前年の測量士補の学習の貯金があったので、少しは楽だった。当初は理解できない部分もそれなりにあったが、何しろ時間がないのでその部分は飛ばしてとにかく先に進むようにした。当初の5回回す計画は結果的に3回が精一杯だったが、3回目になると1回目の時の不明点や疑問点が9割方解消されたので、とにかく回数を回すことが非常に重要であると強く感じた次第である。講師の講義は比較的わかりやすかったのも助かったと思う。またわからないところはその部分だけ繰り返し聞くと理解が進んだ。試験に対する考え方は二通りあると思う。一つはとにかく受かればいいということでひたすら過去問のみを徹底的に繰り返す、理解は二の次で体に過去問をしみこませるやり方、もう一つは基礎となる学習をじっくりやって理解度を上げてから過去問に取り組むというやり方。試験合格だけが目的なら一つ目のやり方が効率的だろう。ただ自分は性格的に二つ目の方があってるので、時間はかかってもそのやり方をした。その際、合格総合講義の内容、講師の力量が大切になってくるがいずれも評価できると思う。

過去問解説講座のご感想・ご利用方法

受験勉強は過去問に始まり、過去問に終わると言われている。とにかく過去問を徹底的に回すのが重要であると多くの人が言っている。合格総合講義と同様、過去問も提供された過去9年分を5回回す予定だったが、結果的には何とか3回をギリギリで回すのが精一杯だった。これも先に問題を解き、解説を読み、そして講師の講義を聴くという順番で行っ

令和6年 測量士試験合格

実務未経験でも一発合格！

服部 友治さん

2024/ 測量士試験 / 合格総合カリキュラム / フル

測量士試験の受験回数：1回目

カリキュラムの学習期間：5か月

アガルトの講座を受講した決め手

講師が良かったから、合格特典があったから、予備校に通学するのではなく、オンラインで学習したかったから、サンプル講義・サンプルテキストが良かったから、合格実績が良かったから

測量士試験を目指した理由・契機

過去に測量士補と土地家屋調査士を取得しましたが、これまでほとんど実務を経験してきておらず、その学習内容も記憶が薄れていくなかで、もう一度学習してみようと考えていたところ、測量士という資格の存在を知り取得を目指してみることにしました。

アガルトアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

これまで様々な資格を取得してきましたが、その経験から、独学よりも通信講座を利用したほうが自分の場合はやる気も出るし理解も早く合格への近道であると考え講座を探していたところ、アガルトアカデミーの講座を見つけました。体験受講やテキストサンプル等を見てみたところ分かりやすそうだったことや、合格特典もありモチベーションアップにつながり受講を決めました。

合格体験記・学習上の工夫

年末あたりに教材が到着し、本格的に学習を開始したのが年明けしばらくしてからでしたので、試験日まで5か月程度しかありませんでしたが、受講相談の際に、300時間以上の学習時間を確保できれば合格は十分可能とのアドバイスをを受け、それを信じて学習を継

続しました。一日に2時間以上、時間がある日はそれ以上、ほぼ毎日学習しました。測量士補や土地家屋調査士の受験からかなり時間が経過していることもあり、最初は合格総合講義のテキストをペラペラとめくってみてもさっぱりわからないという感じでしたが、講義を視聴しながら読み進めていくことで少しずつ理解できるようになっていきました。ただ、実務が未経験であることからどうしても理解や想像ができない部分も多少はありましたが、そういった部分は深追いすることはせず、そういうもののだと割り切って暗記してしまうことで試験には十分に対応することができました。特に計算問題については計算式を暗記しないとどうにもならないものも多くありましたので、そういった暗記項目を別に紙にまとめるなどしてすぐに振り返り復習できるようにするための工夫をしました。それでも、過去問を何度も繰り返しているうちに頻出部分については勝手に暗記してしまうようになるので、そこまで意識をして暗記をするという行為は少なかったように感じます。

合格総合講義のご感想・ご利用方法

合格総合講義及びそのテキストは、測量士試験の合格に特化した内容になっていると感じました。測量士試験の過去問の内容をベースに講義及びテキストが構成されているため、とてもコンパクトにまとめられており、そのテキストの薄さには驚きました。とにかく測量士試験の合格を掴みたいという場合はその効果は抜群であると思います。ただ、その点が私のように実務に疎い者にとっては最初は少し取っつきにくい感じがしましたが、そこは分かりやすい講義がカバーしてくれました。講義は細切れに短い時間で区切られており学習しやすい工夫がみられました。私の場合は、講義を視聴し、そのあとすぐに視聴した範囲のテキストをもう一度熟読する流れで進めていき、その流れで2周まわしました。もう1周まわそうかと迷いましたが、その時点で1か月半ほど経過していたことと、奇数月に配信されるホームルームにおいてなるべく早く過去問に取りかかるようにとの講師のアドバイスを受け、2周まわしたところで過去問に学習を移し、以降は過去問に取り組むなかでもう一度振り返りたい場合に該当部分を視聴・熟読するなどして活用しました。

過去問解説講座のご感想・ご利用方法

合格総合講義を終えてはじめて過去問に取り組んだときは予想以上に歯が立たずかなり焦りましたが、過去問全問を詳しく解説している解説講座を繰り返し視聴しながら過去問を繰り返すうちに徐々に正答率も上がっていきました。過去問解説講座及び過去問題集の素晴らしい点は、何度も出題されている頻出問題についても省略することなく丁寧に解説がされていることと、解説を視聴・熟読することで合格総合講義のテキストの重要部分を復習していることに等しいということです。過去問題集を何度も繰り返し、その解説も熟読することで理解も増し、暗記も容易にできました。私は、まず午前過去問を3周ほどまわし点数が取れるようになったあとに、午前過去問を継続しながら午後必須問題に取り組みはじめ、それができるようになったあとに午後選択問題3、同様に午後選択問題4と追加していき、最終的に自分が試験で解く問題を並行して何周もまわすようにしました。午後の選択しなかった問題は1年分だけ解いてみただけでその後は全く手をつけませんでした。

令和6年 測量士試験合格

自作のノートで知識を整理した

藤原 盛雄さん

2024/ 測量士試験 / 合格総合カリキュラム / フル

測量士試験の受験回数：1回目

カリキュラムの学習期間：6か月

アガルートの講座を受講した決め手

測量士試験対策を実施する予備校が少ないから

測量士試験を目指した理由・契機

現在、一級建築士事務所及び土地家屋調査士事務所を経営しているが、昨今のドローン及びレーザー測量技術革新が目覚ましく、建築や測量の垣根がどんどん低くなってきている。現状、地上レーザー測量・ドローンレーザー測量も導入しているが、官公庁等の受注が多いため、今後は測量業を取得する必要があると感じたから。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

まず、第一に測量士講習を実施している予備校が限定されるため、インターネット等で検索した上で評判の良いアガルートアカデミーに決定した。過去に通信型の予備校を利用したことがあり、個人的にも勉強方法が合っていた。

合格体験記・学習上の工夫

どの資格勉強でも同様であるが、兎に角、テキストの読み込みと過去問の読み込みが必要であると考えている。

測量士試験の試験範囲は他の資格試験よりも出題範囲が狭いため、テキストは最初一度、簡単に読み進めた上で、すぐに択一試験の過去問に手を出してみた。

10年以上前に測量士補試験と土地家屋調査士試験には合格しているが、過去問を解いていく上では何のアドバンテージにもならず。

勿論、測量関連の試験内容なんてすっかり忘れていた。

10年分の択一試験1周目の正解率は50%程度であった。

11月から勉強を始めたため、10年分の択一試験を年内に取り敢えず2周回した。

2周目の正解率は70%程度であった。

年明けに択一試験の3周目を回し、正解率をさらに上げて、知識の定着を図った。

その後、択一試験4周目を回しながら、当たり前だが、この辺りでマンネリに陥る。

飽きずに試験勉強を行うため、午後試験（記述問題）にトライすることとした。

測量士試験の午後の試験は、必須問題以外は測地測量／測図測量／地図編集及びGIS／応用測量から2問選択することが可能であるが、科目を絞ることなく、全て解答することにした。

10年分の記述試験の1周目。正解率は覚えていないが、散々だった。

写経の様に書き続け、1月後半、2月から4月中旬までで、10年分の記述問題を4周回した。

記述問題を解いていくことで、択一試験の成績も向上。

5月初旬には択一試験を7周程度、記述試験を5周程度回していたと記憶している。

記憶の定着が悪い部分については3月辺りから何度かテキストを読み直したが、もっと早い段階でテキストの利用（読み返し）を行った方が良かったと後悔した。

資格勉強の壁に当たってから気づくことだが、テキストって本当良いこと書いてる。

試験前に、なおも記憶の定着の悪い箇所については自分のノートを作成。

ラスト1週間は自分のノートを周回し、本試験に臨むことで、無事合格することができた。

合格総合講義のご感想・ご利用方法

アガルートアカデミーの講義は初めてであったが。

まず講義について。

1本の動画が、なんと短い。

いろんな意味でびっくりした。

そして、最近の世の中の流れだが、倍速可能。

これが良い。

自身が20歳代の頃であれば忍耐なく。

自身が40歳代の今は、兎に角時間がない。

私は、勉強方法が過去問先行派のため、

まずテキストを簡単に読み進め、過去問を周回で回していたが。

何度解いても、どうしても頭に入って来ない箇所や間違う問題がある。

その点を合格総合講座で補完した。

短い動画の中で重要点が説明されているため、択一試験で何度も何度も間違う問題は、倍速による動画視聴とテキストでの復習を徹底することとし、できるだけ学習時間を短縮